# みなみ

第１８号

公益財団法人大牟田医療協会
南大牟田病院･南大牟田クリニック
大牟田市臼井町 23-1、11-6
TEL0944-57-2000、57-3300

## 地域で安心して暮らすためにー④

我が国は国民皆保険の下、長寿社会を実現していますが、終末期には入院医療が中心となり、自宅で亡くなる人の割合は昭和２５年の８０％から平成２２年は１２％まで低下しています。そういった中、当法人は地域の方々が、可能な限り住み慣れた生活の場において、必要な医療・介護サービスを受けることのできる環境を整備し、安心して自分らしい生活が実現できる社会づくりに貢献する一助として、居宅介護サービスを実施していますので、その内容をシリーズで紹介させて頂きます。今回は「訪問リハビリ」を紹介致します。

## 訪問リハビリ

訪問リハビリとは、自宅で生活をしている要支援者や要介護者の方々に対して、理学療法士や言語聴覚士などの担当者が自宅まで伺い、実際の生活場面でリハビリを行います。

### 当院の訪問リハビリ

理学療法士と言語聴覚士が､利用者様一人ひとりの状況に応じた訓練や精神的サポートなどのサービスを提供させていただきます。利用者様の残された能力を最大限に活かしながら、できる限り自立した日常生活を過ごしていただけるよう､リハビリだけにとどまらず介護指導や住宅改修などのお手伝いもいたします。

### 訪問リハビリご利用までの流れ

訪問リハビリテーションのサービスは医療保険でも介護保険でもご利用いただくことができます。ただし、65 歳以上で要介護認定を受けている方は、原則として介護保険が優先します。65 歳未満の方や、65 歳以上で要介護認定を受けていない方の利用は医療保険での利用となります。

◎**介護保険**の場合（要介護・要支援）

１．ご本人・ご家族がケアマネージャにご相談ください。
（当法人では、南大牟田居宅サービス支援センターがこの業務を担当しています。）

２．訪問リハビリを受けるには、かかりつけ医の指示書が必要です。
かかりつけ医が訪問リハビリを行っていない場合は､かかりつけ医から訪問リハビリを行って

いる医療機関へ診療情報提供書を書いていただきます。その診療情報提供書を確認後、訪問リハビリを提供する医療機関の医師が指示書を作成します。
3．医師の指示内容を確認後、訪問リハビリがスタートします。

◎医療保険の場合

1．かかりつけ医に、ご本人・ご家族が訪問リハビリ利用についてご相談ください。
2．かかりつけ医が訪問リハビリの指示書を作成し、訪問リハビリ事業所へ情報を提供します。
3、訪問リハビリ事業所は指示書の内容確認後、リハビリをスタートします。
4、訪問リハビリ事業所はかかりつけ医に、状況報告・連絡・相談等を定期的に行います。

## リハビリの内容

◎生活につながる訓練

生活に必要な身体機能（関節の運動や筋力・体力など）の維持・向上や食べたり話したりする為の機能の維持・向上の訓練を行います。また、ご本人の状態に応じて趣味や生きがいづくりを行います。

◎生活に必要な動作練習

食事や着替え・入浴・トイレ・移動など生活に必要な動作の訓練や提案・指導を行い、コミュニケーション方法の練習や指導、食事内容についても指導・助言をします。

◎介助方法の相談・助言

起き上がりや立ち上がり動作、歩行やトイレ動作など、ご本人やご家族が行いやすい介助方法を練習・助言をします。

◎福祉用具の選択や使い方の相談・助言

ご本人の身体機能や環境に合わせた杖・歩行器や車椅子など、必要な福祉用具の選択や助言をします。

◎住宅改修など住環境整備の相談・助言

ご本人が生活しやすい住環境を整える為に、手すりの設置や段差解消などのご提案や助言を行います。ご家族の方のご希望も伺いながら、一緒に考えていきます。

**問い合せ先：南大牟田病院　リハビリテーション科　0944-57-２０００（担当責任者　田代（たしろ））**

地域交流施設「サロン・すいせん」でのイベントのお知らせ。

「健康体操」
・毎週水曜日　　　午後３：３０～午後４：３０

「健康推進教室」の今後の予定
・毎月第４木曜日　午後３：００～午後４：００
　８月２８日　福祉について
　９月２５日　介護保険について
１０月２３日　インフルエンザ・ノロウィルス感染予防
１１月２７日　お口の健康体操
１２月２５日　メタボリック・シンドロームについて

**参加自由、無料**です。多数のご参加をお待ちしております。
詳しくは、☎０９４４−５３−８８２４（日巻）　まで

台風８号について、気象庁から台風の基準で初めて特別警報が発表されました。最近の自然現象は、今までに経験したことがないとか、何年に一度と表現される現象が多いように感じられます。今から台風シーズンに入りますが大きな被害がないことを願っています

担当：平山　和也
２０１４．８